

**三笠公園集客・交流拠点機能拡充事業
基本計画**

**2024年（令和6年）6月
横須賀市**

【目次】

第1章	計画策定の目的と活用の方向性1
第2章	事業のコンセプトと基本方針15
第3章	導入機能・活用イメージ16
第4章	想定される事業スキーム18
第5章	事業スケジュール19

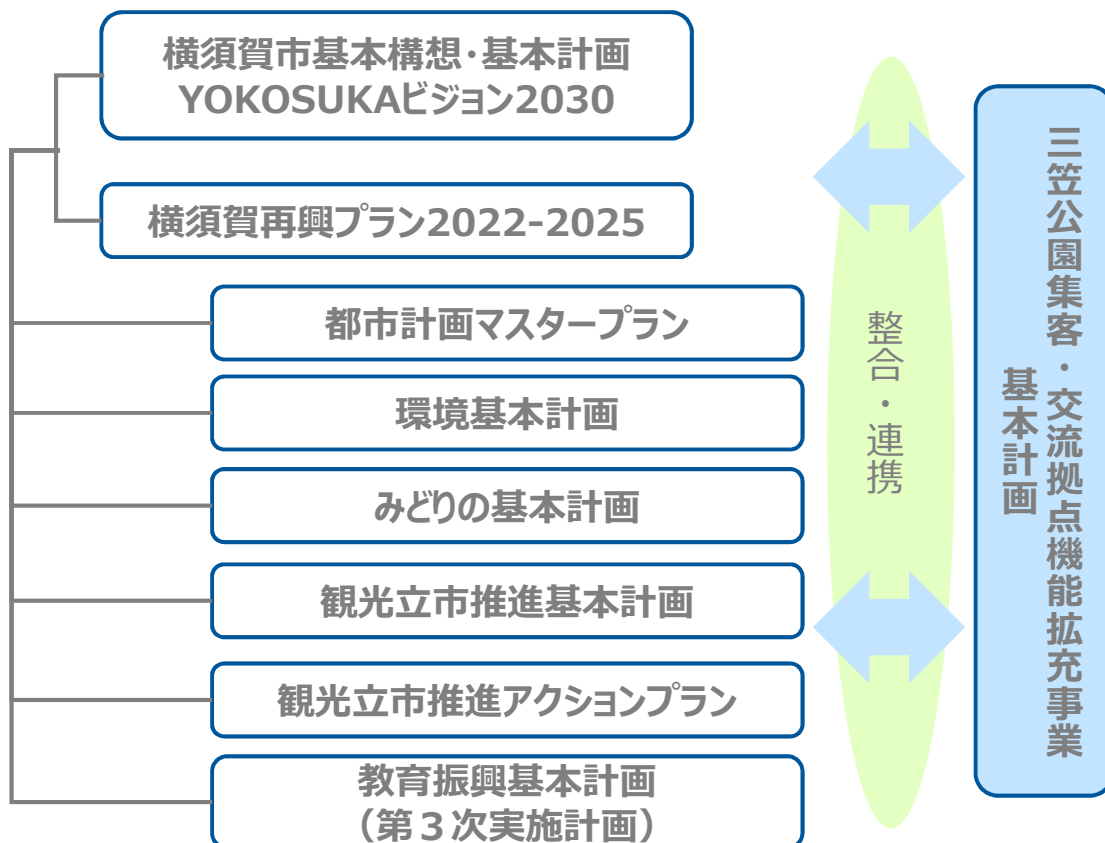
第1章 計画策定の目的と活用の方向性

■計画策定の背景・目的

- 横須賀市では、「横須賀再興プラン」（横須賀市実施計画2022～2025）により、歴史や文化、スポーツを生かしたにぎわいの再興の実現に向けた施策の1つとして「ルートミュージアムのさらなる強化（公園のさらなる利活用）」を掲げています。
- ルートミュージアムのサテライト施設として位置付けし、世界3大記念艦がある三笠公園は、大規模なリニューアル工事を行ってから30年以上が経過し設備の老朽化も進んでいることから、新たな魅力の創造に向けリニューアルを検討しています。
- 本事業においては、民官連携を軸とした事業手法の検討を進めており、本計画では、民間事業者のアイデア、ノウハウを最大限引き出すため、施設・設備の具体的な内容は示さず、対象地での導入が期待される機能や具体的な活用イメージについて主にまとめています。

■関連する上位計画

- 本事業に関連する市の上位計画は以下のとおりです。本計画は、これらの上位計画と整合・連携を図りながら進めていきます。



■対象地の現況、立地

- 三笠公園は、昭和36年に開園され、「日本の都市公園100選」「日本の歴史公園100選」に選ばれた本市を代表する公園です。
- 公園入口付近には記念艦三笠の展示や東郷平八郎像があり、公園の奥側には野外ステージ等のほか、猿島を眺望する開放的な芝生広場が公園の特徴となっています。

対象地位置図（中域）



国土地理院地図をもとに作成

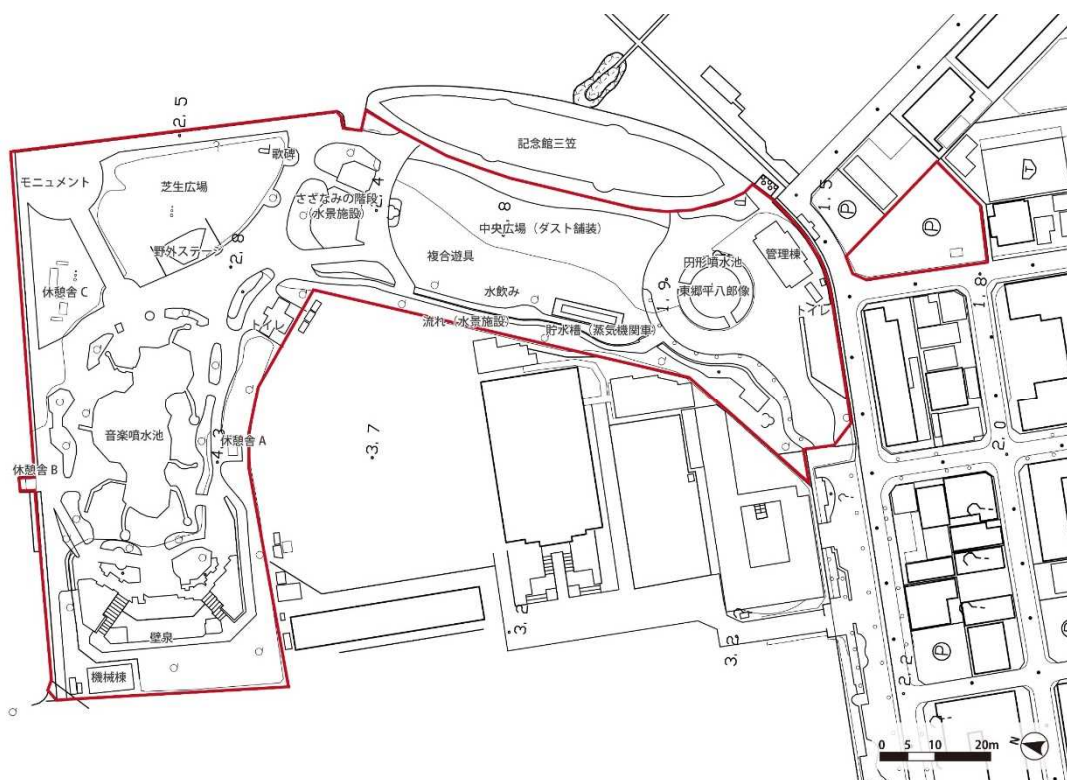
対象地位置図（狭域）



国土地理院地図をもとに作成

■概要・主要施設

園内マップ



概要

所在地	神奈川県横須賀市稲岡町82番14
面積	31,448.00㎡（都市公園区域）
アクセス	京浜急行横須賀中央駅から、徒歩約15分 JR横須賀駅から横須賀中央・三笠循環バス「三笠公園」下車すぐ 横須賀ICから車約20分
開設年月日	昭和36（1961）年5月27日
公園種別	歴史公園
沿革	<p>大正15（1926）年より現在の場所で保存されてきた記念艦三笠が、昭和36（1961）年5月、戦後の荒廃を経て往時の姿に復元されたのを機に開園。市内に数少ない人工的な水辺のレクリエーションゾーンとして、多くの市民に親しまれてきた。</p> <p>その後、市では「海と緑の10,000メートルプロムナード」計画の最大拠点として、三笠公園を充実させるため、昭和59年～61年3か年をかけて公園のリニューアル事業を実施。三方を海に囲まれ、自然と調和しながら発展する横須賀の将来テーマを、果てしなく広がる海の「水」と燦々と輝く太陽の「光」、陽気なメロディーの「音」の3つに位置付け、記念艦三笠を中心に多くの市民の集いとふれあいの場となるように公園整備が行われた。</p>

■ 現況写真



① 壁泉上から音楽噴水池側を望む



② 現状利用されていない壁泉



③ 公園から猿島を望む



④ 芝生広場内の野外ステージ



⑤ 記念艦三笠



⑥ 円形噴水池の東郷平八郎像



⑦ 管理事務所



⑧ 三笠公園通り

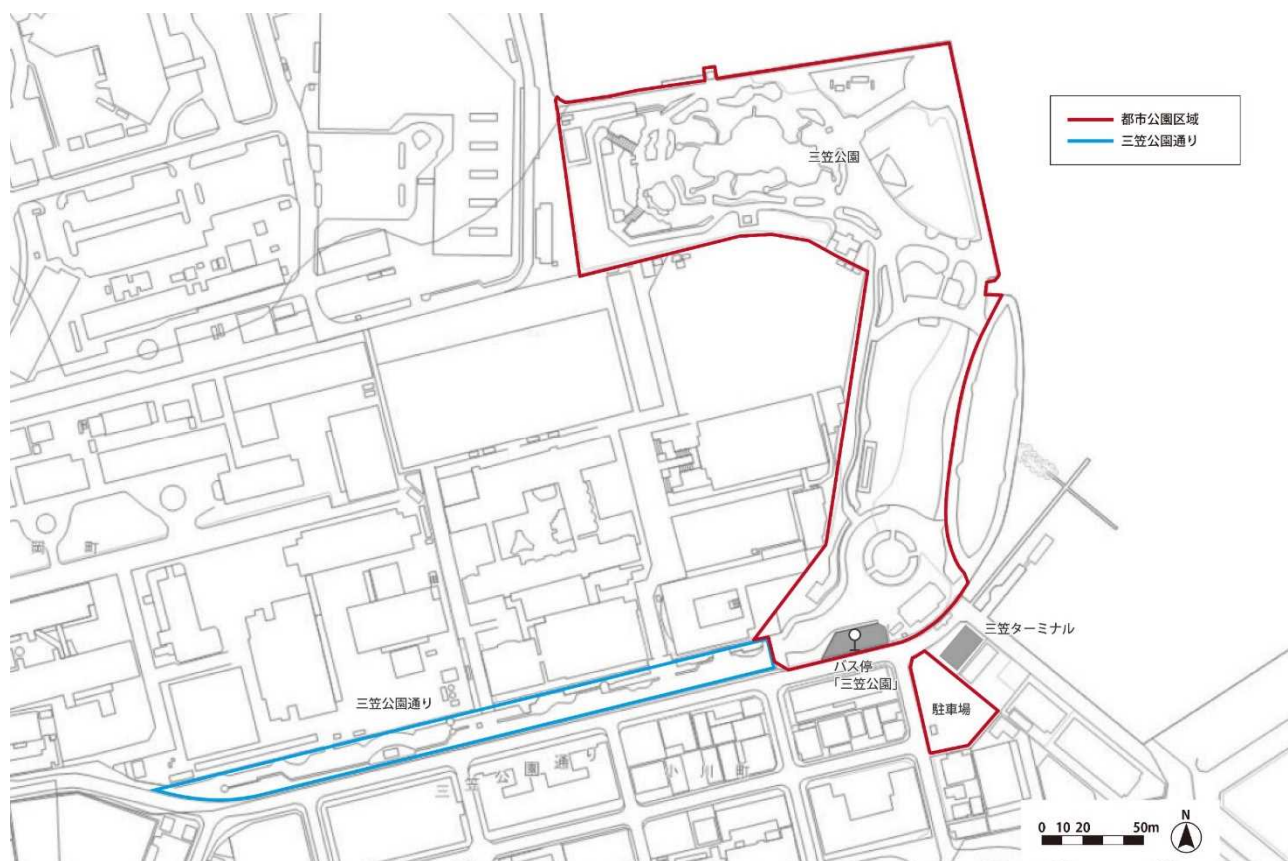
■交通機関

- 公園周辺の交通機関としては、横須賀中央・三笠循環バスの「三笠公園」バス停があり、横須賀駅・横須賀中央駅を結ぶ循環バスが30～40分間隔に1便運行されています。
- 公園西側には三笠ターミナル / 猿島ビジターセンターが位置しており、猿島へのフェリーが1時間間隔に1便運行されています。
- 公園専用の有料駐車場（35台分）が道路を挟んだ飛び地部分に整備されています。

■道路

- 公園南側で幅員6.0m程度の市道に接道しています。

指定道路図

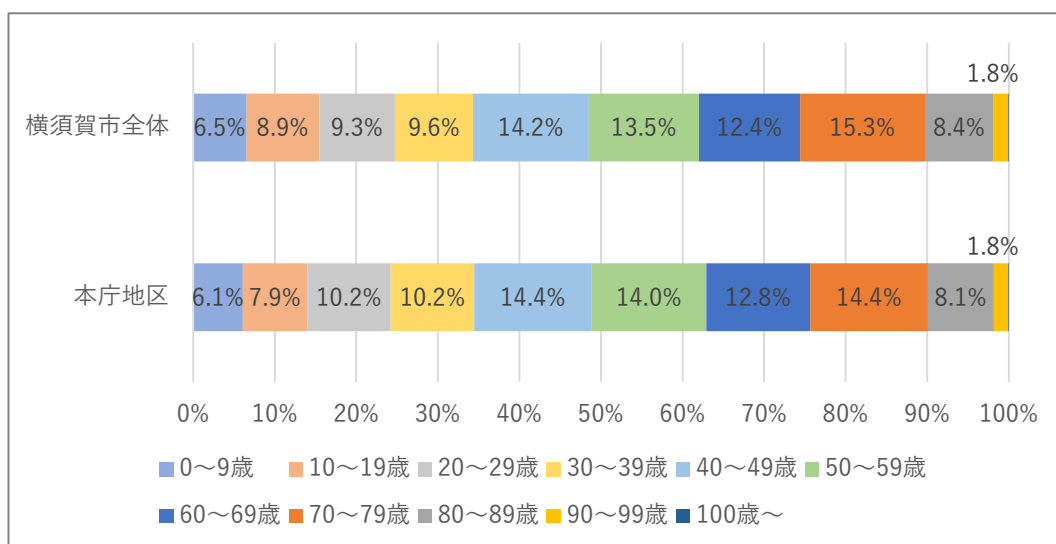


よこすかわが街ガイドをもとに作成

■人口

- 対象地が位置する本庁地区における年齢（10歳階級）別人口構成は以下のとおりです。
- 横須賀市全体の人口構成との大きな差は見られませんが、本庁地区では、20～29歳の割合がやや高くなっています。これは、地区内に大学や専門学校が立地していることが一因であると考えられます。

市全体・本庁地区における年齢（10歳階級）別人口構成



出所：国勢調査をもとに作成

■周辺施設

■周辺の観光施設、商業施設

- 三笠公園周辺には、コースカベイサイドストアーズやいちご横須賀ポートマーケット等の大規模商業施設が徒歩圏内に立地しています。
- また、毎年開催されるフェスタや基地内ツアーで多くの観光客を集める米海軍横須賀基地や海上自衛隊施設、ドブ板通りや人気のクルーズツアー「横須賀軍艦めぐり」の発着点である汐入桟橋、猿島観光の拠点である三笠桟橋、横須賀と北九州・新門司港を結ぶカーフェリーが就航する東京九州フェリー横須賀ターミナル等にも近接していることから、周辺施設との連携によって誘客を測れる大きなポテンシャルが期待されます。

主要商業・観光施設位置図



出所：国土地理院の電子国土基本図をもとに作成

主要施設の概要

No.	施設名	概要
①	ヴェルニー公園	旧横須賀製鉄所の建設に貢献したフランス人技師ヴェルニーにちなんで昭和21年に臨海公園として開設。フランス式花壇や噴水、洋風あずまやなどもあり、約1,700本のバラが見ごろを迎える春と秋には「ローズフェスタ」が開催されている。 園内にはよこすかルートミュージアム構想の中核拠点施設「よこすか近代遺産ミュージアム ティボディ邸」が令和3年5月に開業。
②	よこすか ポートマーケット	地産地消推進事業の一環として平成25～30年度に運営された三浦半島の農水産物を販売する施設をリニューアルし、「かながわフードエクスペリエンス」をコンセプトとした「いちご横須賀ポートマーケット」として令和4年10月に開業。
③	猿島（猿島公園）	三笠桟橋よりフェリーで10分程度の東京湾に浮かぶ唯一の自然島であり、豊かな自然と猿島砲台などの史跡を目的に多くの観光客が訪れる。平成7年度からは猿島航路が就航し、夏季を中心として海水浴やバーベキュー、史跡ガイドツアー等の観光客で賑わっている他、近年ではアートイベントや音楽フェスの開催など若者層向けのイベントにも活用されている。
④	東京九州フェリー 横須賀ターミナル	令和3年7月から北九州・新門司港を結ぶカーフェリー「それいゆ」「はまゆう」が新規就航している。就航後1年目の乗客は5万人を超え、40～50代の年齢層を中心に利用されている。
⑤	YOKOSUKA GENIC STREET	三笠公園からうみかぜ公園までの歩道に、『「YOKOSUKA」から「世界」へ「LOVE」を発信』をテーマとして令和2年に誕生した長さ50mのウォールアート。デザインは横須賀総合高校の生徒（1作品）とプロのアーティスト（4作品）によるものであり、フォトジェニックな新名所としてイベントや撮影等に活用されている。
⑥	うみかぜ公園	港湾法に基づく港湾緑地であり、バーベキューや釣り（平日のみ）の場としても親しまれている。市内唯一のスケートボードパークを備えている。
⑦	ドブ板通り商店街	京急汐入駅から米海軍横須賀基地に向かって伸びる横須賀市本町の商店街であり、日本とアメリカの雰囲気融合した観光スポット。「スカジャン」発祥の地としても知られ、昔ながらのミリタリーショップやスーベニアショップ、外国人バーやレストランなどが軒を連ね、ネイビーバーガーや海軍カレー、チェリーチーズケーキ等の横須賀グルメを楽しむことができる。
⑧	コースカベイサイド ストアーズ	国道16号沿線の横須賀本港に面する造船所等の跡地に整備された市内最大規模の商業複合施設であり、令和2年6月にリニューアルオープンした。株式会社トライアングルが運航するクルーズツアー「Yokosuka軍艦めぐり」の乗船所（汐入桟橋）に直結する観光拠点となっている。

■三笠公園の管理運営状況

■来園者

- 令和元年度を参照すると三笠公園全体で約190万人、記念艦三笠には約20万人の年間利用者がいます。令和2、3年度は新型コロナウイルスの影響で大きく利用者数が減少しましたが、令和4年度以降、増加傾向にあります。
- 三笠公園全体では4、5、8、10月の利用者が多く、最大で約33万人/月の利用者がいます。これはイベントの影響があるものと考えられます。
- 記念艦三笠は5月の利用者が最も多く、最大で約3.5万人/月の利用者がいます。通年で安定して利用者があることが特徴です。

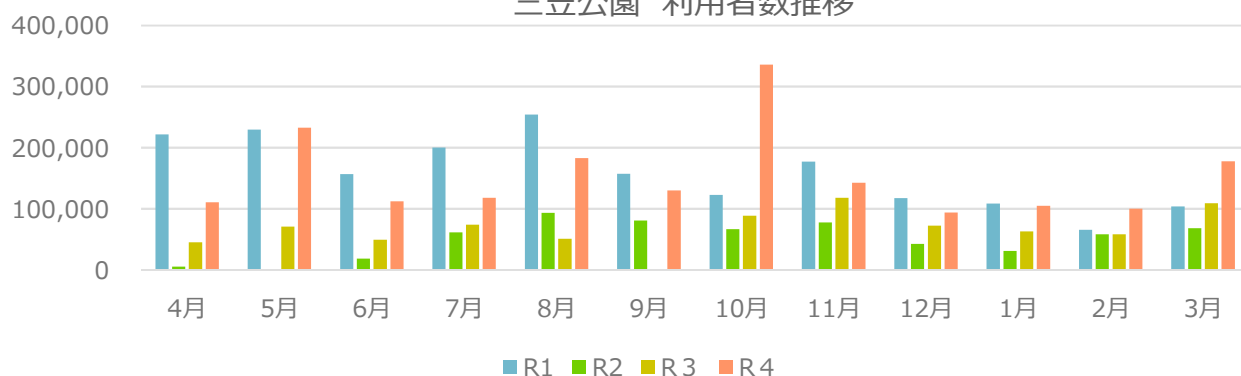
三笠公園 利用者数

	R1	R2	R3	R4
4月	221,794	5,682	45,540	110,830
5月	229,569	0	70,830	232,900
6月	156,768	18,380	49,570	112,300
7月	200,007	61,440	74,180	117,800
8月	253,882	93,410	51,130	183,100
9月	157,110	80,808	0	130,300
10月	122,596	66,710	88,925	335,600
11月	177,224	77,760	117,840	142,900
12月	117,504	42,570	72,260	93,900
1月	108,364	31,290	63,075	105,200
2月	65,714	58,210	58,520	100,100
3月	103,797	68,540	109,390	177,900
合計	1,914,329	604,800	801,260	1,842,830

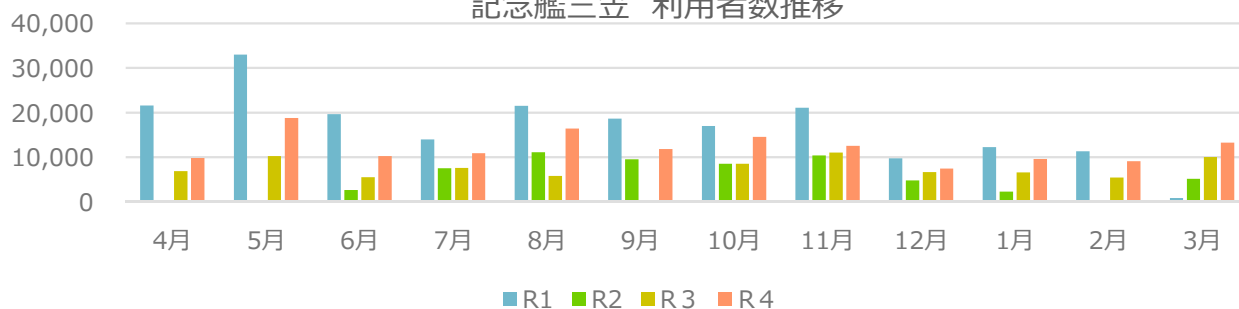
記念艦三笠 利用者数

	R1	R2	R3	R4
4月	21,559	0	6,828	9,757
5月	32,956	0	10,203	18,717
6月	19,628	2,582	5,440	10,218
7月	13,963	7,507	7,513	10,860
8月	21,492	11,078	5,769	16,372
9月	18,633	9,472	0	11,784
10月	16,941	8,452	8,465	14,525
11月	21,061	10,325	11,010	12,524
12月	9,737	4,758	6,603	7,439
1月	12,220	2,229	6,547	9,544
2月	11,297	0	5,399	9,090
3月	769	5,111	10,009	13,193
合計	200,256	61,514	83,786	144,023

三笠公園 利用者数推移



記念艦三笠 利用者数推移



■ イベント実施状況

- 三笠公園は、よこすか開国花火大会やよこすかカレーフェスティバル等の大型イベントの会場になっています。また、ヴェルニー公園や米海軍横須賀基地、海上自衛隊横須賀地方総監部などの周辺施設でも定期的に大型の集客イベントが開催されています。

三笠公園及び周辺施設で定期的に開催されている代表的なイベント

イベント名	開催時期	開催場所	三笠公園の来園者数
Yokosuka軍港めぐり	毎日10時～15時 1時間間隔で運航	汐入棧橋より横須賀本港～ 長浦港を周遊	—
よこすかカレーフェスティバル	5月中旬	三笠公園	50,800人 (2日間合計)
よこすかYYのりものフェスタ	6月上旬	JR横須賀駅・ヴェルニー公園・海上自衛隊横須賀地方 総監部・三笠公園	—
よこすか開国花火大会	10月中旬	三笠公園、うみかぜ公園	34,800人
海上自衛隊オートムフェスタ	10月中旬	海上自衛隊横須賀地方総 監部	—
よこすかみこしパレード	10月下旬	横須賀中央大通り～米海軍 横須賀基地内クレメント通り	—
よこすかカウントダウン	12月31日18時～ 翌1月1日1時	ヴェルニー公園他	—
日米親善よこすかスプリングフェスタ	3月下旬	米海軍横須賀基地	39,500人

- また近年、三笠公園や猿島は主に若者層をターゲットとした音楽イベントやアートイベント、サブカルチャーイベント等の会場としても活用されています。



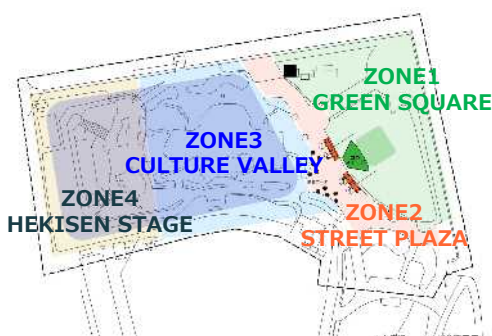
▲ 三笠公園での各種イベントの様子

■音楽噴水池の廃止とトライアルサウンディング（社会実験）の実施

- 三笠公園では、令和5年7月末をもって老朽化した音楽噴水池の運用を終了し、ポンプや給水管等の撤去を行いました。
- さらに令和5年10月には民間から音楽噴水池跡を含む奥側のゾーンを活用したイベント企画などを募集し開催するトライアルサウンディング（社会実験）を実施し、事業者公募に向けた三笠公園のPRや、リニューアルに向けた公園の現状や課題などを把握を行いました。

PARK CHALLENGE @MIKASA開催概要

目的	1. 事業者公募に向けて三笠公園を大々的にPR 2. 民官連携を意識したリニューアルに向けて、民官それぞれが公園の現状や課題などを把握 ○行政：イベントなどの集客性、施設との相性、周辺への波及効果 ●事業者：公園の使い勝手、必要な整備、投資額などの確認
募集日程	令和5年8月1日（火曜日）から8月23日（水曜日）まで
開催日程	開催期間： 令和5年9月17日（日）～11月19日（日） うちコア期間： 令和5年10月7日（土）、21日（土）、22日（日）、28日（土）、29日（日）
実施企画	リニューアルのコンセプトを踏まえ、原則、三笠公園の奥側を使用するイベント企画などを募集し、様々なイベントを実施。企画は市にて選考・選定。 <主な実施企画> ZONE1（芝生広場・野外ステージ）…ステージパフォーマンス、マルシェ等 ZONE2（園路）…キッチンカーの出店及び飲食スペース ZONE3・4（旧音楽噴水池・壁泉）…アーバンスポーツ体験、サウナ体験等
事業者数	14社
来園者数	約230,000人 ※開催期間のうちイベント実施日の合計



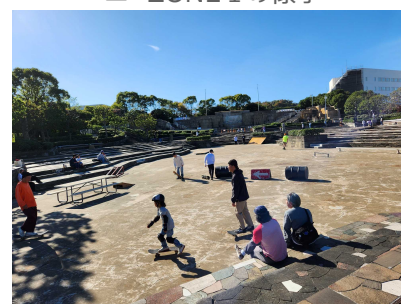
▲ 実施場所及びゾーン分け



▲ ZONE 1の様子



▲ ZONE 2の様子

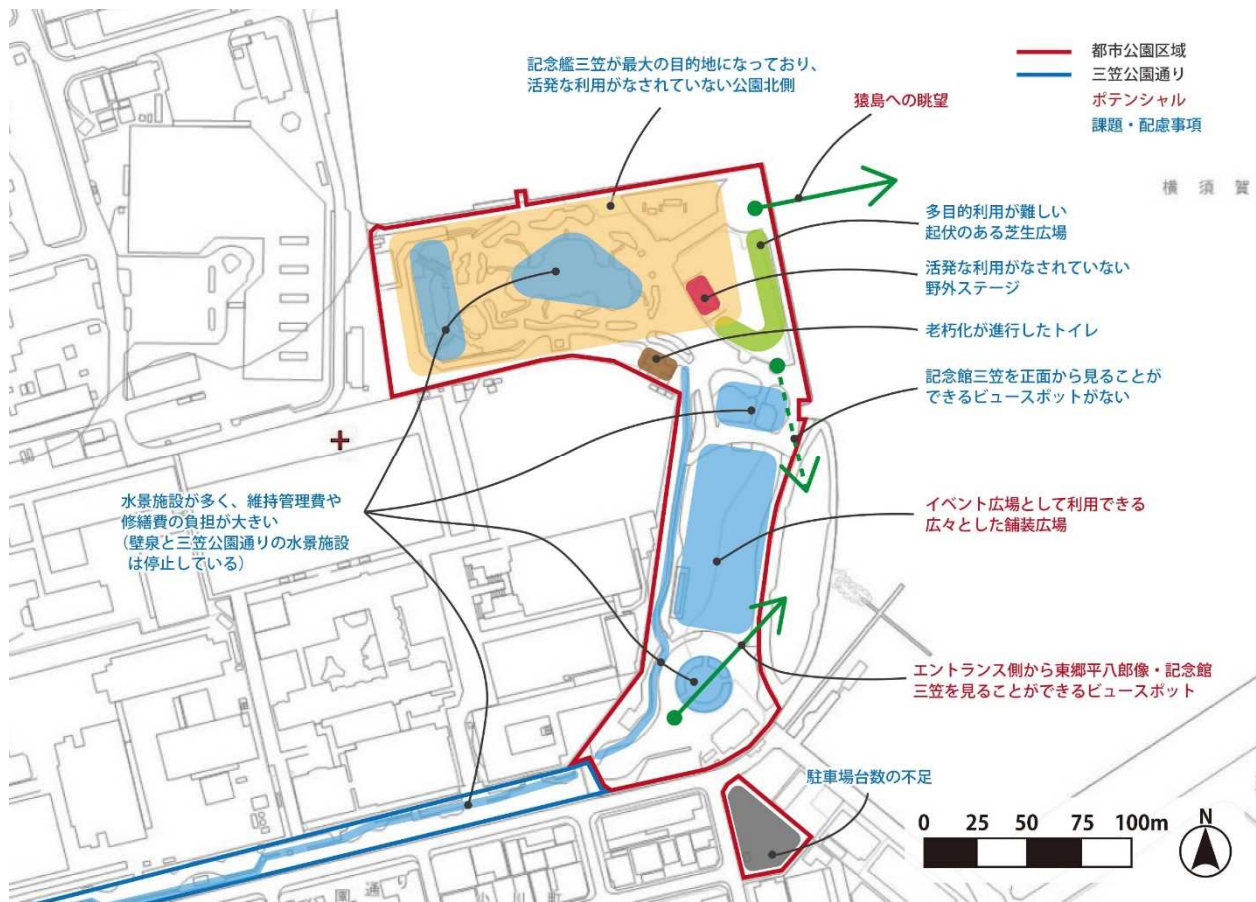


▲ ZONE 3・4の様子

■三笠公園のポテンシャルと課題

- 施設の現況や周辺環境を踏まえた三笠公園のポテンシャルと課題は以下のとおりです。

三笠公園のポテンシャルと課題



ポテンシャル

- エントランス側から東郷平八郎像・記念艦三笠を見ることができるビュースポット
- イベント広場として利用できる広々とした舗装広場
- 猿島への眺望

課題

- 水景施設が多く、維持管理費や修繕費の負担が大きい(現在は水景施設設備を停止・撤去済み)
- 多目的利用が難しい起伏のある芝生広場
- 活発な利用がなされていない野外ステージ
- 老朽化が進行したトイレ
- 記念艦三笠を正面から見る事ができるビュースポットがない
- 記念艦三笠が最大の目的地になっており、活発な利用がなされていない公園北側
- 駐車台数の不足

■上位計画における位置づけ

- 三笠公園の再整備にあたり、関係する上位計画「YOKOSUKAビジョン2030」「YOKOSUKA再興プラン2022-25」「横須賀市都市計画マスタープラン（平成28年3月改定）」「横須賀市みどりの基本計画中間見直し計画」「横須賀市都市公園の整備・管理の方針」「横須賀市観光立市推進基本計画」の6つから、「三笠公園が備えるべき要素」に関連する項目を抽出しました。

三笠公園が備えるべき要素

横須賀らしさ・本庁地区らしさ

現在の市の強みとなっている地域資源であり、横須賀らしさをもたらす「アメリカの雰囲気」「海」「多様性のあるコミュニティ」、本庁地区らしさをもたらす「都市景観」に関する記述

ワクワクを生む仕掛け

市の新たな魅力・将来の強みとして強化中であり、地域資源と融合させて賑わい創出を図る「スポーツ」「文化（アート・音楽等）」に関する記述

上位計画

「三笠公園が備えるべき要素」に関連する項目

YOKOSUKAビジョン2030
（基本構想・基本計画）

- ・ 多様性に富んだコミュニティを育む仕組みづくり
- ・ 音楽やアートなどの文化活動ならびにスポーツと、市の地域資源とを融合させることによる活気づくり

YOKOSUKA再興プラン
2022-25

- ・ 海という資源を最大限活用する海洋都市づくり
- ・ 市の多様な地域資源と融合させながら集客・投資喚起を図る、音楽・スポーツ・エンターテインメント都市づくり
- ・ 子どもから高齢者まで様々な世代が交流できる個性ある地域コミュニティのある都市づくり

横須賀市都市計画マスタープラン（平成28年3月改定）

- ・ 海洋環境に配慮し、軍艦が見える個性と魅力ある都市的な景観創造
- ・ アメリカを思わせる国際色豊かな文化や環境を持つ中心市街地づくり
- ・ うみかぜの路/横須賀中央駅周辺を軸としたネットワーク化
- ・ 都市の顔として、広域的な交流とレクリエーションの拠点となる、商業地の賑わいと魅力のあるウォーターフロント形成
- ・ 新たな都市魅力としての、文化・交流拠点の整備と、健康・文化・スポーツ新興を促す土地利用誘導

横須賀市みどりの基本計画中間見直し計画

- ・ 眺望に優れ、水と親しめるみどりの拠点の充実による交流促進
- ・ ルートミュージアムの1つであり、海辺景観と歴史的遺産が一体となったみどりの保全・創出
- ・ スポーツや音楽等のエンターテインメントへの活用促進

横須賀市都市公園の整備・管理の方針

- ・ 多様なみどりと地域拠点を活かした公園づくり
- ・ P-PFIをはじめとした多様な制度の活用拡大を通じた公園リニューアル
- ・ スポーツを核とした公園づくりと拠点形成
- ・ 他分野連携によるエンターテインメントの演出

横須賀市観光立市推進基本計画

- ・ 米海軍横須賀基地と関係者の存在、よこすかネイビーバーガーなどのグルメ、米海軍横須賀基地やドブ板通りからもたらされるアメリカの雰囲気といった、市の観光における大きな強みの強化
- ・ スポーツをはじめとした市の観光におけるニッチな強みの強化
- ・ 中心部における核となる観光集客施設の不足、基地関連施設の観光活用への抵抗感、地域資源間のストーリー不足といった市の観光における弱みの克服

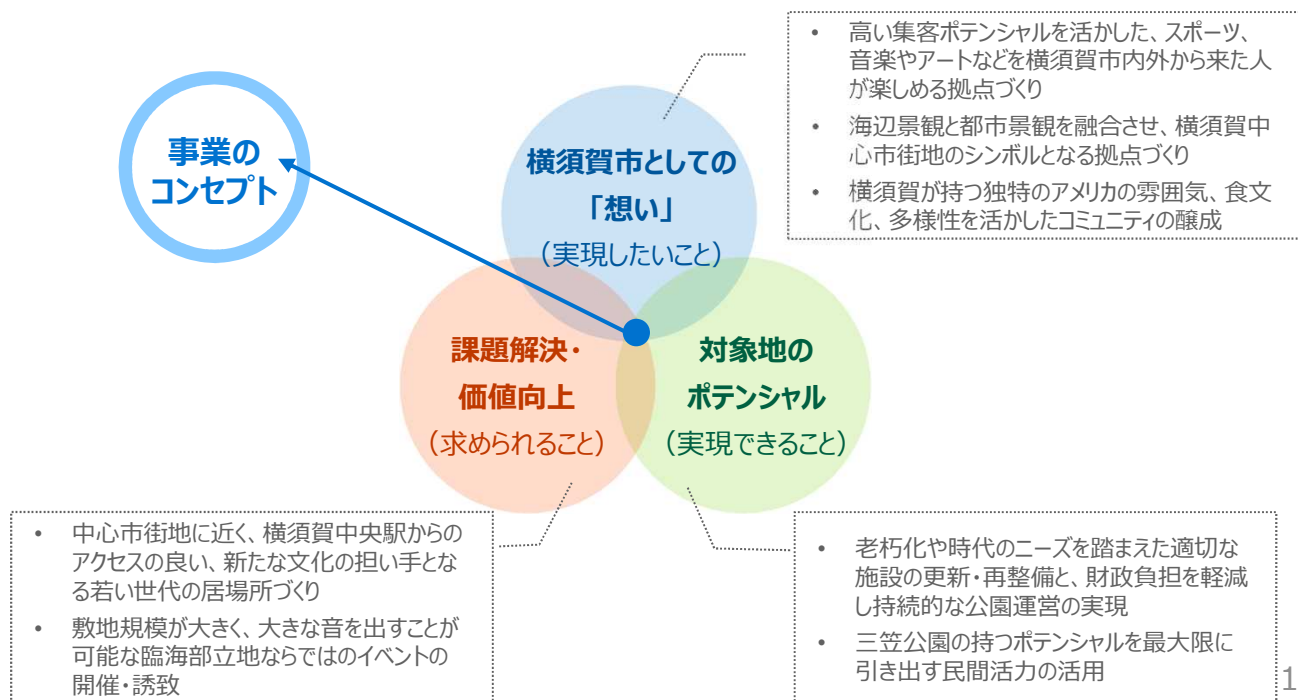
■三笠公園の強み/課題・留意点

- 上位計画や公園の現状、社会環境・周辺環境等から導かれる三笠公園の強みと課題・留意点は以下の通りです。

	強み	課題・留意点
上位計画の重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海辺景観と都市景観の融合 ・ 中心市街地における拠点シンボルづくり ・ アメリカの雰囲気への活用 ・ 横須賀ならではの食の強化 ・ 多様性のあるコミュニティを生む仕掛けづくり ・ エンターテインメントの演出：スポーツ、文化（音楽やアート等） 	
公園の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京浜急行横須賀中央駅から徒歩約15分、中心市街地に位置する好立地 ・ 公園北側は準工業地域であり用途の制約は少ない ・ 190万人もの利用者がいる高い集客ポテンシャル ・ 市の大型イベントの多くで会場として活用されているシビックプライド醸成の拠点 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 噴水等水景施設のコスト負担 ・ 多目的利用が難しい起伏のある芝生広場 ・ 記念艦三笠が最大の目的地になっており、公園北側の活用が不十分 ・ 利用者数に対して駐車場台数が不足 ・ トイレ等の施設の老朽化
社会環境・周辺環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽・ダンス関連イベントやアーバンスポーツ関連イベント立上げの機運の高まり ・ コロナ禍の収束や円安を背景としたインバウンド需要の回復 ・ 近隣の中心市街地や商業施設、特色ある観光施設と連携した取り組みの可能性 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内、近隣自治体におけるアーバンスポーツ施設の不足（市内においてははうみかぜ公園が唯一のスケートパーク） ・ 周辺自治体における公園活用事業や若者文化に着目した類似事業との棲み分け

■本事業のコンセプトを導く3つの要素

- 本事業のコンセプトは、上記の強みと課題・留意点から抽出された「実現したいこと」「求められること」「実現できること」の3つの要素から導かれるものとします。



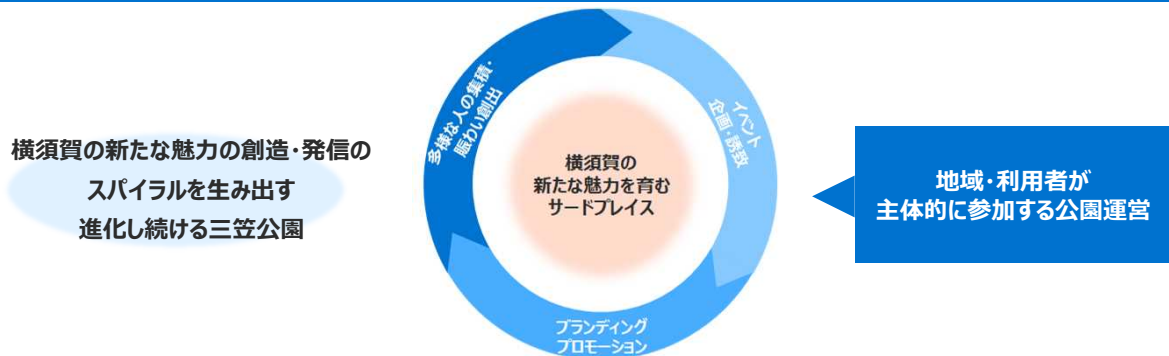
第2章 事業のコンセプトと基本方針

■本事業のコンセプト

市内外から多くの方が訪れ、行きたくなる新たな魅力の創造・発信拠点



～横須賀ならではの特徴を活かし、進化し続ける公園～



■リニューアルの考え方（本事業の基本方針）



魅力的な滞在空間

- ・三笠公園ならではの雰囲気醸成する魅力的な空間にする。また、市内外の人を惹きつける独創的でシンボリックな空間にする。



多くの人が集う日常的な賑わいの創出

- ・日常的にイベント等が開催され、常に賑わいがある公園とする。
- ・ルートミュージアムに位置付けられている施設や周辺施設との連携し、賑わい創出の取組を行う。
- ・近隣住民や市民のみならず、市外からの観光客など、多くの人を訪れたいような仕掛けを作る。



多様かつ柔軟な場の提供

- ・日常的な活動から大規模なイベントまで様々な活動を可能とする多目的な空間とし、市内外からの数多くの利用者が多様かつ柔軟な使い方をできる場を提供する。



横須賀ブランドの創出・発信

- ・横須賀ならではのモノ・コトを横須賀ブランドとして創出し、市内外へ発信する拠点とする。



サードプレイスの創出

- ・横須賀ならではのカルチャー（音楽、ファッション、アーバンスポーツ、アート、食文化など）を育むサードプレイス（※）にする。

※サードプレイス：自宅や職場ではない、コミュニティの核となる居心地のよい「第3の場所」のこと。



“自由さ”の確保

- ・最大限禁止事項をなくし、様々な利用方法が可能な自由な公園にするとともに、安全を確保するための仕組みを作る。
- ・利用者が主体的に公園利用のルール・環境づくりを行う仕組みを作ることで、利用者それぞれが自由に活動できる公園にする。

第3章 導入機能・活用イメージ

■施設整備にあたっての方向性

- 基本方針に取り組む具体的な手法として、以下のとおり整備方針と維持管理・運営方針を設定しました。

整備方針

公園全体で統一された 景観整備

- ・ 公園全体が海辺の開放的な雰囲気を感じさせる景観整備を行う。
- ・ 猿島への眺望景観を確保する。
- ・ 記念艦三笠等の時代背景と調和した景観整備を行う。

多様なイベントが実施 可能な環境整備

- ・ 日常的に多様なイベントを実施することを前提に、十分な規模のインフラ設備（電源、上下水道設備等）を整備する。

民間収益機能の導入

- ・ 横須賀ならではのカルチャーと相乗効果を発揮する民間施設を導入する。
- ・ 対象地の強み（海、猿島、米海軍基地、記念艦三笠等）を生かしたサービスを提供する民間施設を導入する。

魅力的な 滞在空間の整備

- ・ 大屋根や芝生広場等が一体的にデザインされ、多くの人を惹きつけるような来園の目的になり得る三笠公園ならではのシンボルを創出する。
- ・ 三笠公園ならではの雰囲気を醸成し、利用者が自由自在に、自分ならではの居心地の良い場所を見つけ、滞在したいと思える空間を創出する。
- ・ 開放的な芝生広場やデッキ、休憩場所等を整備し、海辺を楽しみゆったりくつろげるような場を整備する。

維持管理・運営方針

多様なイベントの コーディネート

- ・ アーバンスポーツ教室やキッチンカーなどの日常的なイベントから、スポーツ大会や音楽イベント等の大規模イベントまで、市内外から人を惹きつける多様なイベントを企画・誘致する。

周辺施設との 積極的な連携

- ・ ルートミュージアムや1万メートルプロムナードうみかぜの路に位置付けられている施設との連携によって市全体への波及効果を高める。
- ・ 周辺施設のまちづくりの取組みとの連携によって賑わい創出の効果を高める。

人を呼び込む 仕掛けづくり

- ・ 多くの人を訪れたいようなブランディングを行う
- ・ 対象地で行われる活動やイベント情報等を広く情報発信する
- ・ 来園者の分析（属性、来園目的、来園のきっかけ等）等を行い、その結果をブランディング・情報発信に活かすなど、人を呼び込むためのマーケティング施策を行う

利用者が公園運営に 参画する仕組みづくり

- ・ 利用者によって、公園の日常管理、イベントの補助、公園利用のルール・環境づくり等が行われるようにする。
- ・ 利用者の意見を公園の改善に繋げる仕組みを作る。
- ・ 利用者間の相互コミュニケーションによる自治が行われるようにすることで、禁止事項を最大限なくす。

■整備イメージ（期待される導入機能とゾーニングの一例）

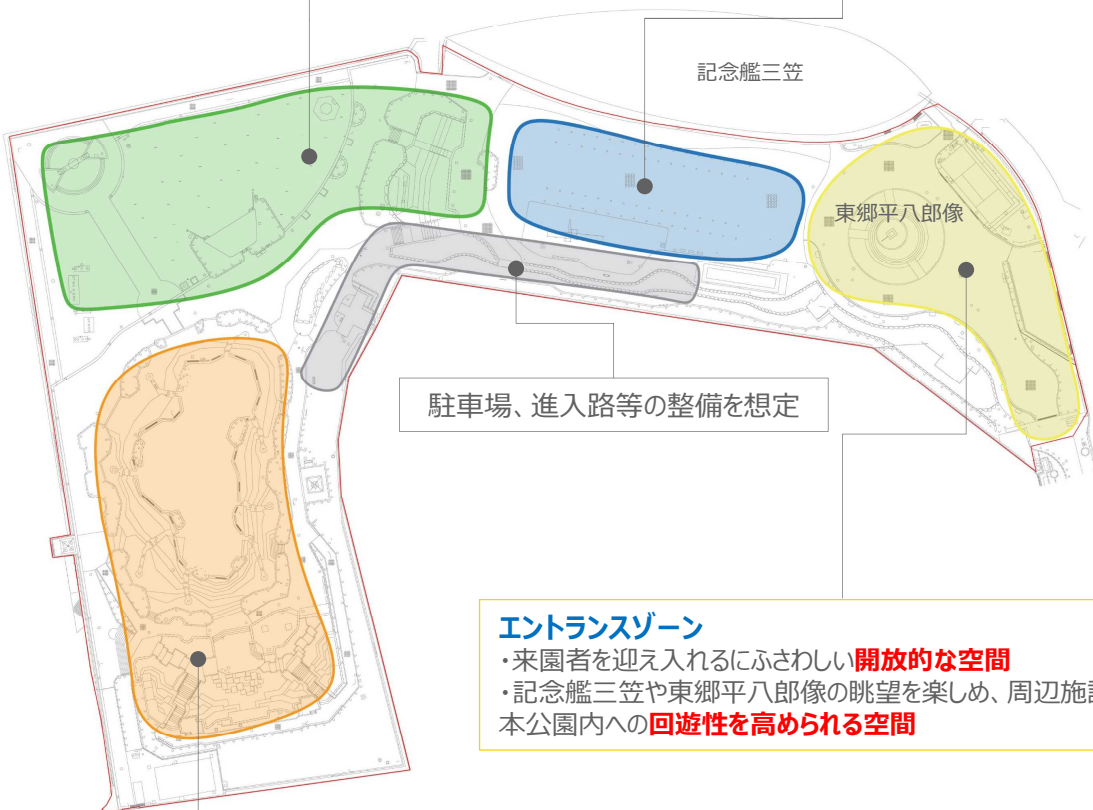
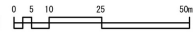
海辺景観ゾーン

カフェ、物販等の民間収益施設、野外音楽ステージに代わる音楽施設、大屋根や芝生広場等が一体的にデザインされた**シンボリックな空間**

中央広場ゾーン

カレーフェスティバル等、様々なイベントが実現可能な**大規模イベント空間**

1 : 1000



エントランスゾーン

・来園者を迎え入れるにふさわしい**開放的な空間**
・記念艦三笠や東郷平八郎像の眺望を楽しめ、周辺施設利用者の本公園内への**回遊性を高められる空間**

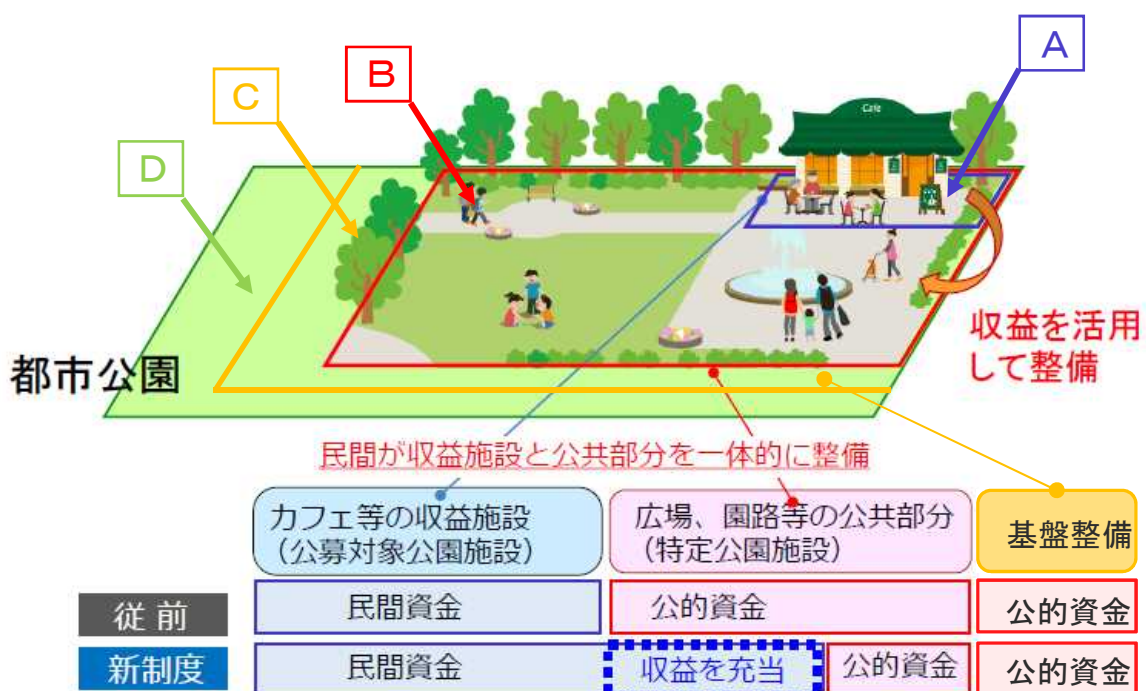
多目的・賑わいゾーン

旧音楽噴水池や壁泉など特殊な地形を活かし、多様なイベントの開催や、日常的にアーバンスポーツ等を柔軟に楽しめる**多目的な空間**

第4章 想定される事業スキーム

■想定される事業スキーム

- 三笠公園の再整備にあたっては、これまで市民の憩いや観光の場として親しまれてきた歴史や景観を活かしながら横須賀ならではのカルチャーを創出し、同時に収益性も実現するという複合機能を発揮することが求められるため、高度な事業コーディネートや事業推進等の民間ノウハウを最大限生かすことが必要となります。そのため、高い自由度を確保するスキームが求められます。
- 本事業では、民間のノウハウを最大限に活かし、財政負担の軽減や収益性の確保が見込める「Park-PFI方式」「DB方式」「指定管理方式」の3つの事業方式を組み合わせることを想定しています。



Park-PFI方式（公募設置管理制度）

A 公募対象公園施設

民間企業が、カフェ等といった公園利用者の利便性の向上に資する公園施設（収益施設）を設置、運営する。

B 特定公園施設

Aの公園施設で得られた収益を還元し、その周辺の広場、園路等の一部を整備する。

DB方式

C 基盤整備

再整備に公園として必要な造成やインフラなどの基盤の設計、整備を行う。

D 指定管理方式

都市公園の管理者（指定管理者）として指定し維持管理、運営を行う。

第5章 事業スケジュール

■事業スケジュール

- 令和5年度においては、本基本計画の検討及び社会実験を実施しながら、官民連携手法の確定や事業者公募・選定に向けた検討を行いました。
- 令和6年度に事業者公募・選定を行い、選定された事業者と基本協定及び事業実施に向けた実施協定を締結する予定です。
- 令和6年度より、設計及び建設を行い、令和8年度以降の開業を目指します。

	令和6 (2024)年度	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度	令和9 (2027)年度	...	令和26 (2044)年度
事業者 公募・選定	★基本協定締結 ★実施協定締結					
設計・整備～ 開業	設計・整備		開業・運営			